

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2025年5月19日
第9号

野球部 春季大会 課題修正してリベンジを

野球部は春季大会1回戦、小樽桜陽に7-0（7回コールド）で勝利し、準決勝で連合チーム（小樽水産・倶知安農業・寿都・蘭越）に10-0（5回コールド）で勝利した。決勝は北照と対戦し、3-7で敗れ、準優勝となった。主将の後藤大成くんに試合を振り返ってもらった。打撃の練習成果は出せたが、守備のミスなど課題も見つかった。

1回戦（5月11日）桜ヶ丘球場

	1	2	3	4	5	6	7	計
双葉	0	1	2	0	0	1	3	7
桜陽	0	0	0	0	0	0	0	0

投手-捕手 近藤-鶴来

本塁打 木村（5回）

2塁打 木村（3回）・柏木（6回、7回）

7回コールド

準決勝（5月13日）桜ヶ丘球場

	1	2	3	4	5	計
水農寿蘭	0	0	0	0	0	0
双葉	0	1	0	4	5×	10

投手-捕手 佐治-鶴来

2塁打 木村（3回）、後藤（4回）

決勝（5月14日）桜ヶ丘球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
北照	0	1	0	1	1	0	3	0	1	7
双葉	1	0	0	0	0	0	2	0	0	3

投手-捕手 近藤・高橋（8回）-鶴来

2塁打 後藤（8回）

打順

- 高杉健心 センター
- 横尾真闘 ショート
- 後藤大成 セカンド
- 木村獅道 ライト
- 柏木大翔 レフト
- 船木翔瑛 ファースト
- 本間丞之輔 サード
- 鶴来莉玖 キャッチャー
- 近藤琉唯斗 ピッチャー



近藤琉唯斗くん

試合前、合掌・礼拝を欠かさない。



機動力高め、全道目指す
—1回戦、桜陽戦は「機動力を活かす」ことを目標にしていた。2回、本間くんのタイムリーヒットから流れを作ることができた。準決勝の連合チーム戦は序盤、思うようにプレーできず焦りが生じたが、後半は徐々に自分たちのペースで得点できた。3年生は8名が出場できた。決勝の北照戦では試合の入り気をつけた。1回表は3者凡退で守り、裏で1点先取できた。しかし、守備や走塁に課題が見つかった。夏の大大会に向けて克服していきたい。」と後藤くん。一ヶ月後の選抜大会支部予選までチーム一丸となって、機動力を高め、全道を狙う。

マウンドで声を掛け合っ。



雨で気温も低い中、桜陽戦では野球部と吹奏楽部が合同で応援した。練習の甲斐がありました。



横尾真闘くんの打席

後藤大成くんのバッティング

